

令和３年度第４回秋田県地域公共交通活性化協議会

地域部会の概要

【県北地域部会】

日 時 令和４年２月１５日（火） 午後１時３０分～午後２時３０分
場 所 各委員の職場・自宅等からのリモート開催
参 集 委員３１名中２２名参加（９名については後日書面協議）

【概 要】

１ 開 会

委員３１名中代理を含む２２名が参加し、残り９名についても後日の書面協議について承諾があり会議が成立

２ あいさつ

小松課長があいさつ

３ 協議事項

小松課長が議長として議事進行

（１）秋田県地域公共交通計画（案）について

当日資料１～２に基づき、事務局が説明

《質疑等》

議長

本日は、始めに委員の皆様からご意見・ご質問を受けた上で、何もなければ、対面で実施する会議としては今年度最後の機会であるため、任意で指名させていただくのでご発言をいただきたい。

まずは、ただいまの説明に対しご質問・ご意見はないか。

棚谷委員（秋北バス）

当社及び秋田中央交通の地域連携ＩＣカードの導入日が決まったが、計画案では「２０２２年春」となっており、可能であれば修正をお願いしたい。また、当社の地域連携ＩＣカードのデザインも決まっており、そちらについても反映いただければありがたい。

議長

今ご提案いただいた秋北バス及び秋田中央交通の地域連携 I C カードの導入時期の明確化及び地域連携 I C カードについて紹介しているページへの秋北バスで導入する I C カードデザインの掲載について、まずは事務局として計画案への反映はスケジュール的に問題等ないか。

事務局

問題ない。

議長

それでは皆様からご異議等なければご提案いただいた修正について反映することとしたいがよろしいか。(異議なしとの反応)

それでは修正箇所について反映させることとしたい。

議長

他にご意見等ないか。(なしとの反応)

それでは最後の機会であり、これまでの総括や今後の意気込みでも構わないのでご発言いただきたい。

鹿角市はどうか。

木村委員代理(鹿角市生活環境課)

公共交通のオープンデータ化について、時刻表や料金表などのデータの作業を進めている。利用者へのサービスの向上につなげるため鋭意取り組んでおり、引き続き取組への支援をお願いしたい。

議長

続いて、道路管理者として北秋田地域振興局建設部はいかがか。

加藤委員代理(北秋田地域振興局建設部)

今年は鷹巣も積雪が多く、バス路線については優先して除雪しているが、どうしても路幅が狭い路線があり、排雪が遅いという声も頂戴している。除排雪業者と話し合いながら改善してまいりたい。

議長

今年は報道等でも除排雪に関する問題提起が多い一年であったと感じている。計画内では具体の施策という形では記載していないが、今後こういったことがやり得るのかなどこの会議の場で議論していければ良いと考える。引き続きよろしくをお願いしたい。

続いて、交通事業者として秋田県ハイヤー協会能代山本支部はいかがか。

中嶋委員（秋田県ハイヤー協会能代山本支部）
特にない。

議長
続いて、利用者代表から三種町の三浦委員はいかがか。

三浦委員（三種町利用者代表）
P 1 1 6 に三種町の取組を記載いただきありがたい。

議長
最後に、本計画は国の法改正を契機に策定することとなっており、秋田運輸支局に総括いただきたい。

吉川委員（秋田運輸支局）
各エリア 4 回に渡っての議論を通じ、素晴らしい計画ができたのではないかと感じている。この計画案により本局とも情報共有を図り、秋田の公共交通がより良いものとなるように支局としても携わってまいりたい。
先ほど I C カードの話が出たが、秋北バス及び秋田中央交通で I C カードを導入する。I C カードの導入によって、正確な利用実績が把握でき、より効率的なダイヤの見直しが期待できると感じている。羽後交通でも導入が進めば、より全県的な効果が期待できるのではないかと。
また、計画にも記載のある乗務員不足について、昨日秋田魁新聞の社説にも掲載されたが、どこも乗務員不足は深刻であり、この計画に基づき、ぜひ各地域で乗って守るという意識を周知・啓発していただきたい。

議長
他にご意見等ないか。（なしとの反応）
それでは、他になれば一部今後修正すべき点はあるものの、秋田県地域公共交通計画（案）について本地域部会として承認してよろしいか。（異議なしとの反応）

4 その他
令和 4 年度地域公共交通関連事業について資料に基づき、事務局が説明

《質疑等》
なし

5 閉 会

【中央地域部会】

日 時 令和4年2月16日（水） 午後1時30分～午後2時30分
場 所 各委員の職場・自宅等からのリモート開催
参 集 委員23名中13名参加（10名については後日書面協議）

【概 要】

1 開 会

委員23名中代理を含む13名が参加し、残り10名についても後日の書面協議について承諾があり会議が成立

2 あいさつ

小松 県交通政策課長があいさつ

3 協議事項

小松課長が議長として議事進行

（1）秋田県地域公共交通計画（案）について

当日資料1～2に基づき、事務局が説明

《質疑等》

議長

ただいまの説明に対しご質問・ご意見はないか。

本日お示しした計画案について、今後、修正する必要がある箇所については、改めて修正後の内容を示した上で、書面で承認いただくこととし、特にご意見等なければ承認することとしてよろしいか。（異論なしとの反応）

議長

今年度最後の機会なので、任意で指名させていただくのでご発言をいただきたい。男鹿市はどうか。

刈谷委員代理（男鹿市企画政策課）

当市は、事業者主体のバス路線は既になく、市町村が自ら運営しているコミュニティバスが主体となっているが、今後の人口減少に伴い、いかに維持していくかが課題であり、利用促進を図ってまいりたい。

議長

道路管理者を代表して、秋田河川国道事務所からご発言をお願いしたい。

岩澤委員代理（秋田河川国道事務所）

第3回目の協議会以降、当事務所からの修正意見に対し、丁寧に対応いただき感謝申し上げます。急速な高齢化や免許返納の増加傾向等を踏まえて、今後は高齢者にやさしい公共交通を目指してほしい。デジタル化など新しい交通サービスが必ずしも高齢者にとってやさしいものではないことを念頭に、計画を推進していってもらいたい。

議長

デジタル化を推進していくに当たり、県としても高齢者に配慮して施策に取り組んでまいりたい。

交通事業者を代表して秋田中央交通はどうか。

旭谷委員代理（秋田中央交通）

3月から開始する地域連携ICカード「Akica（アキカ）」により、公共交通の利便性向上に貢献してまいりたい。

議長

JR秋田支社はどうか。

清水委員代理（JR東日本秋田支社）

当社からの修正意見に対応いただき感謝申し上げます。全県域にまたがる唯一の公共交通機関として、県の計画とともに取り組んでまいりたい。

議長

利用者代表として小玉委員にご発言をお願いしたい。

小玉委員（潟上市利用者代表）

毎回、分かりやすい資料を作成していただき、感謝したい。

議長

潟上市からもお願いしたい。

藤原委員代理（潟上市企画政策課）

当市でも、地域公共交通計画を作成中であり、県から支援いただいているオープンデータ化を含めて、利便性向上に取り組んでまいりたい。

議長

最後に秋田運輸支局からコメントをお願いしたい。

吉川委員（秋田運輸支局）

たくさんの手間を掛けて計画を策定いただいた県に対し、東北運輸局として感謝申し上げます。地域公共交通計画の策定は県だけでなく全ての市町村に義務づけられており、県の策定を契機に、未策定の市町村にもぜひ取り組んでいただきたい。県計画は令和４年度からの施行となるが、全県域を対象とした初めての計画であり、自治体間の連携や協力につながることを期待している。

計画にもあるとおり、今春から複数のバス会社で地域連携ＩＣカードの導入が始まるが、キャッシュレス化といった利便性の向上とともに、収集したデータの活用により効率的な運行ダイヤの編成も期待できるので、特に乗合バスに導入する秋田中央交通にはメリットを発信してもらい、未導入の交通機関への後押しをお願いしたい。

４ その他

令和４年度地域公共交通関連事業について資料に基づき、事務局が説明。

《質疑等》

なし

５ 閉 会

【県南・由利地域部会】

日 時 令和4年2月17日（木） 午後1時30分～午後2時30分
場 所 各委員の職場・自宅等からのリモート開催
参 集 委員29名中25名参加（4名については後日書面協議）

【概 要】

1 開 会

委員29名中代理を含む25名が参加し、残り4名についても後日の書面協議について承諾があり会議が成立

2 あいさつ

小松課長があいさつ

3 協議事項

小松課長が議長として議事進行

（1）秋田県地域公共交通計画（案）について

当日資料1～2に基づき、事務局が説明

《質疑等》

議長

ただいまの説明に対しご質問・ご意見はないか。

永井委員代理（仙北市企画政策課）

計画案のP95「公共交通の運行状況（仙北圏域）」において、タクシー事業者の事業所の位置が不自然なので修正をお願いしたい。

議長

確認のうえ修正する。

菊地委員（横手市利用者代表）

計画案のP75「県内を運行する公共交通一覧」において、平鹿・雄勝地域にJR新幹線が運行している表記になっているので修正をお願いしたい

議長

明らかな間違いであり修正する。

ほかになれば、本日お示しした計画案について、今後、修正する必要がある箇所については、改めて修正後の内容を示した上で、書面で承諾いただくこ

とし、特にご意見等なければ承認することとしてよろしいか。(異論なしとの反応)

議長

今年度最後の機会なので、任意で指名させていただくのでご発言をいただきたい。美郷町はどうか。

高橋委員（美郷町企画財政課）

当町でも地域公共交通計画を策定中であり、3月末の完成を予定している。町内には大きな交通機関はないが、今後も継続して運行できるよう利用促進に取り組んでまいりたい。

議長

湯沢市はどうか。

長岡委員代理（湯沢市企画課）

当市では、令和5年度の新たな計画策定に向けて、来年度から作業をスタートする予定。乗合タクシーを導入して10年経過したが、今後の制度の改善に向けて、公共交通のあり方を検討する年になると考えている。

議長

道路管理者として雄勝地域振興局建設部はどうか。

内藤委員（雄勝地域振興局建設部）

道路管理者として引き続き安全確保に努めてまいりたい。

議長

交通事業者として羽後交通はどうか。

金谷委員代理（羽後交通）

計画でも触れていただいたが、乗務員不足が大きな問題となっており、4月のダイヤ改正にも影響が出る予定である。路線はなるべく維持することとしたいが難しい状況である。

議長

由利高原鉄道はどうか。

萱場委員（由利高原鉄道）

今年度からスタートした通学定期の割引制度は、利用者の増につながり効果

があったと考えている。一方で、それ以外の地域住民の方々の利用はうまくいっていない。観光利用も重要な要素だが、まず、地域の方々に利用してもらえそうな施策を考えていきたい。

計画案のP91「公共交通の運行状況（由利圏域）」において、図示されているもの以外にも運行しているバス路線等があると思うが、なにか理由があるのか。

議長

バス路線については、技術的な制約により、県の運行補助の対象となっている路線に絞って掲載させていただいており、ご理解いただきたい。

住民利用者を代表して鷹島委員からご発言をお願いしたい。

鷹島委員（由利本荘市利用者代表）

秋田魁新報にも記事が掲載されたが、乗務員不足は大変大きな問題だと思う。担い手が不足しているからといって、バス路線を廃止してしまえば、県や市の交通計画自体が立ち行かなくなってしまう。県や市町村、交通事業者はもちろん、県民も一緒に取り組んでいかなければならない問題である。

議長

最後に秋田運輸支局からコメントをお願いしたい。

吉川委員（秋田運輸支局）

県の計画としては東北で5番目の策定となるが、委員の方々のさまざまな意見を反映して立派な計画に仕上がったと思う。東北運輸局としても感謝申し上げる。

秋田魁新報の記事にもあったように、乗務員不足はどの交通機関にとっても大きな問題であり、危機的状況と考えている。今こそ「乗って守る」意識が重要であり、市町村には広報等での啓発をぜひお願いしたい。

計画にもあるとおり、今春から複数のバス会社が地域連携ICカードを導入することとしており、未導入の交通事業者においては、コロナ禍で大変な経営環境とは思いますが、国や県の補助事業を活用することを含めて導入を前向きにご検討いただきたい。

4 その他

令和4年度地域公共交通関連事業について資料に基づき、事務局が説明

《質疑等》

なし

5 閉 会